

問題解決技法入門

3. GIS

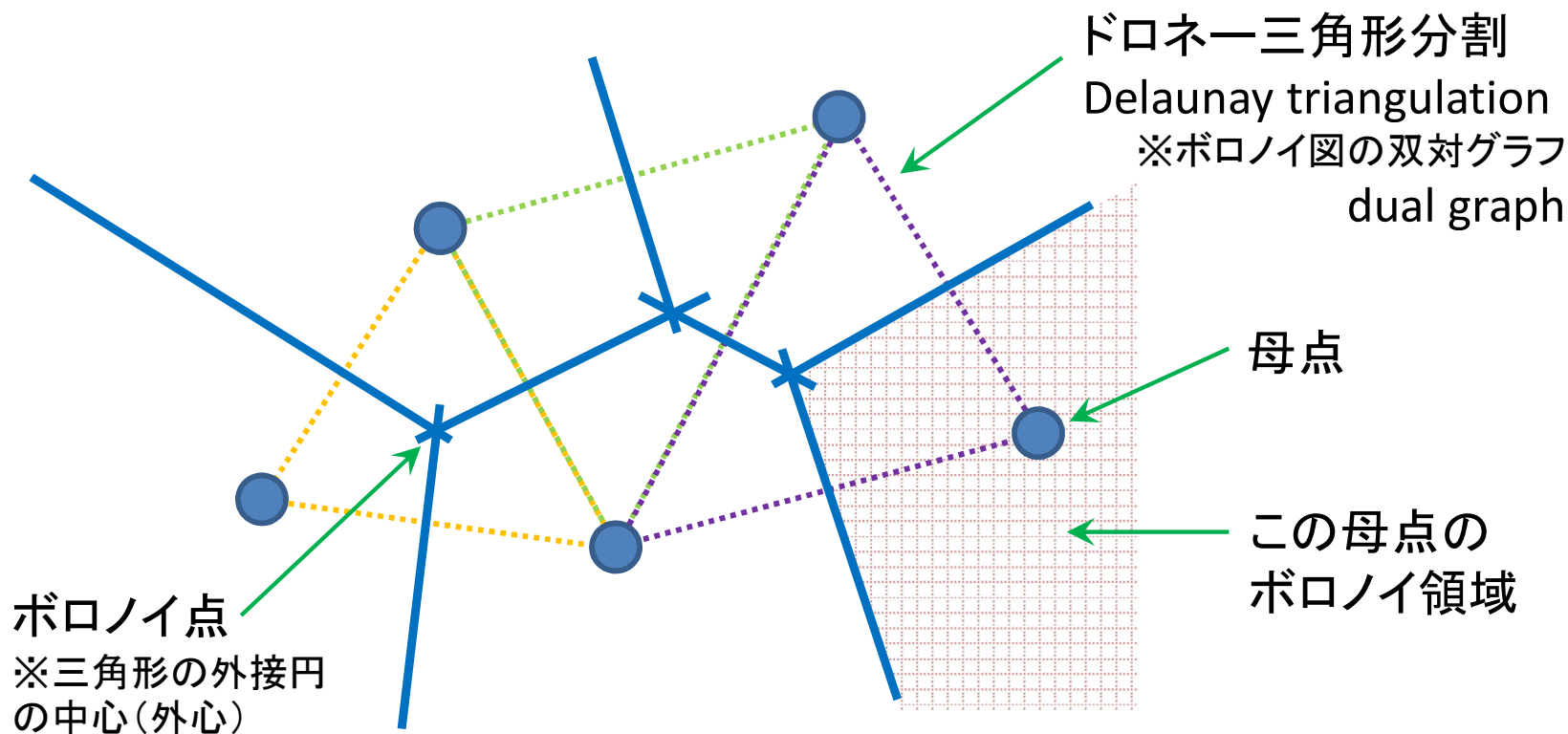
1. Voronoi diagram

堀田 敬介

Voronoi diagram とは？

- ボロノイ図 Voronoi diagram

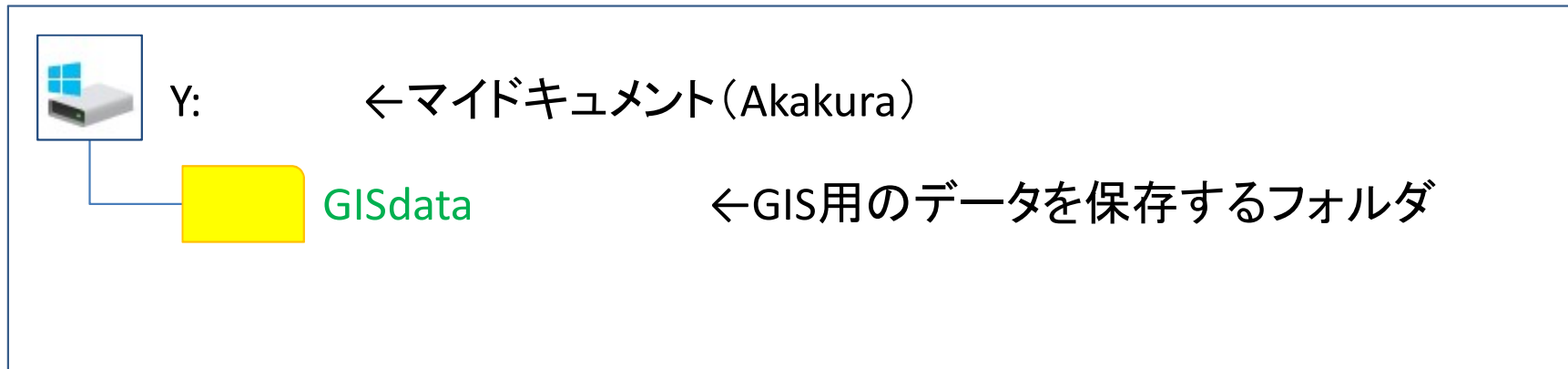
- 空間上の複数個の点(母点)をもとに領域分割
- 各領域(ボロノイ領域)から最も近い母点はその領域内の母点
- 2次元ユークリッド空間上でユークリッド距離を考えると, 各領域は2点の垂直二等分線で分割される その際, 3つの母点を分ける境界線の交点は1点で交わる(ボロノイ点)



QGISでVoronoi図を簡単に描く

1. データの取得の準備

- ① マイドキュメント(Akakura) [Y:]ドライブ にデータ用のフォルダを作る. フォルダ名は「GISdata」とする



QGISでVoronoi図を簡単に描く

2. データの取得①(行政区域データの取得)

- ① ブラウザで「国土数値情報」を検索 → 国土交通省:「[国土数値情報 ダウンロードサービス](#)」サイト
- ② 「2. 政策区域」の「[行政区域](#)」を選択(クリック)
- ③ 「ダウンロードするデータの選択」で「神奈川県」を選択(チェック)し、「次へ」
- ④ 取得したい年度(大正9～現在まであるので最新の年度)を探し、該当するファイル名を選択(チェック)し、「次へ」
- ⑤ アンケート画面の【必須入力】に答えて「回答する」
- ⑥ 「利用規約」を読んで了解したら「はい」
- ⑦ データのダウンロード画面で「ダウンロード」
- ⑧ 保存場所は、準備で作成した「GISdata」とする

QGISでVoronoi図を簡単に描く

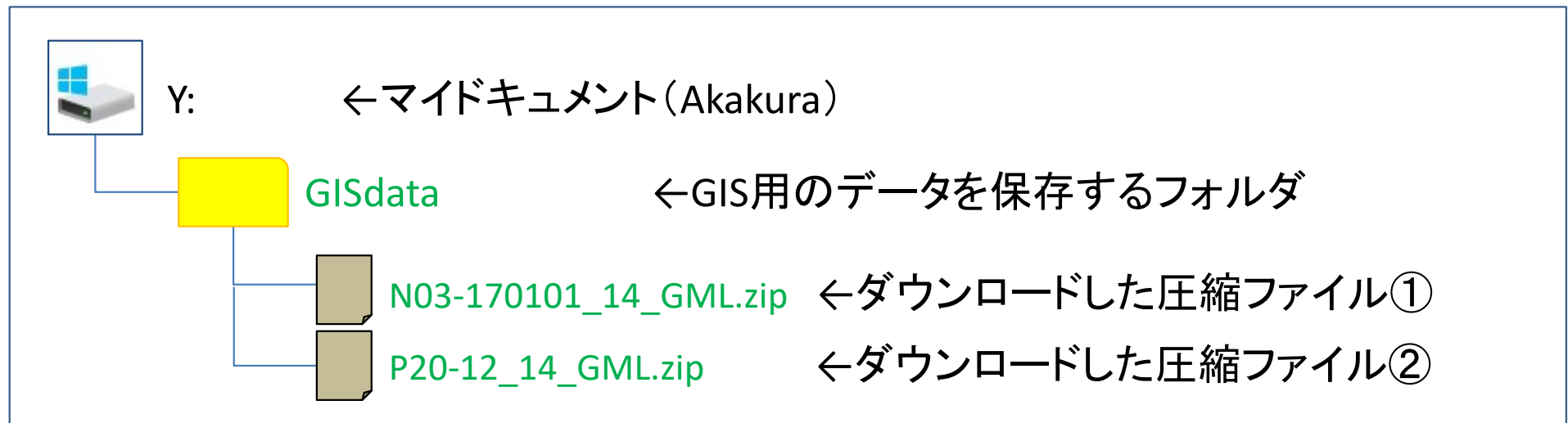
3. データの取得②(避難施設データの取得)

- ① ブラウザで「国土数値情報」を検索 → 国土交通省:「[国土数値情報 ダウンロードサービス](#)」サイト
- ② 「2. 政策区域」の「＜災害・防災＞」から「[避難施設](#)」を選択(クリック)
- ③ 「ダウンロードするデータの選択」で「神奈川県」を選択(チェック)し、「次へ」
- ④ 取得したい年度を探し、該当するファイル名を選択(チェック)し、「次へ」
- ⑤ アンケート画面の【必須入力】に答えて「回答する」
- ⑥ 「利用規約」を読んで了解したら「はい」
- ⑦ データのダウンロード画面で「ダウンロード」
- ⑧ 保存場所は、準備で作成した「GISdata」とする

QGISでVoronoi図を簡単に描く

4. データ(zip圧縮ファイル)の解凍

- ① マイドキュメント(Akakura) [Y:]ドライブ 内のデータ保存用フォルダ「GISdata」に保存したダウンロードデータを解凍する



※拡張子がzipのファイルは、「zip形式」という「圧縮ファイル形式」の1つ

＜圧縮ファイルの解凍の仕方＞

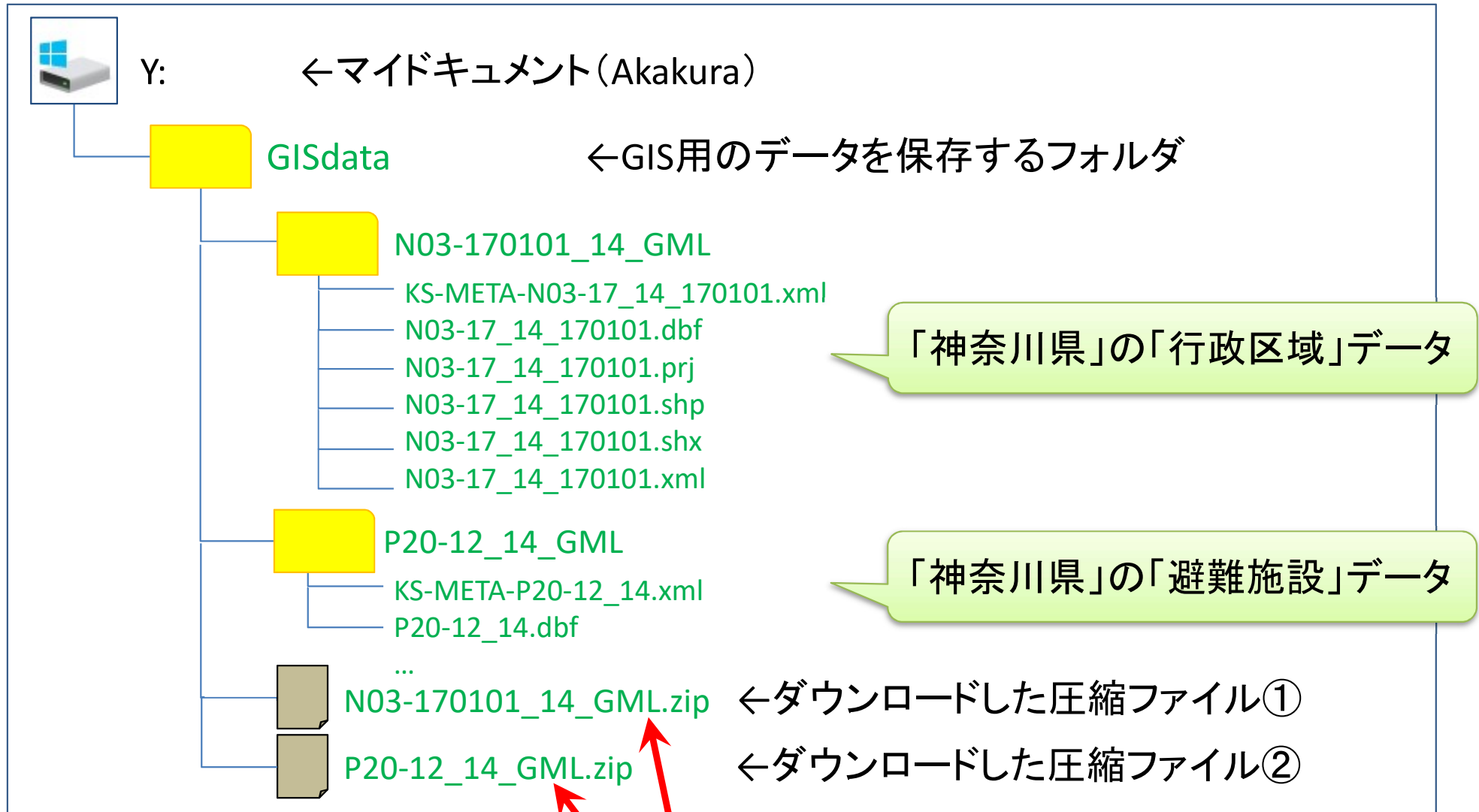
- A. ファイルを「右クリック」し、「解凍」―「ここに解凍」を選ぶ
または
- B. ファイルをダブルクリックする

※ファイルを解凍すると、ファイル名と同じ名前の「フォルダ」ができ、その中に解凍されたファイルがある

QGISでVoronoi図を簡単に描く

4. データ(zip圧縮ファイル)の解凍(その2)

➤ 圧縮ファイルを解凍すると、以下ようになる



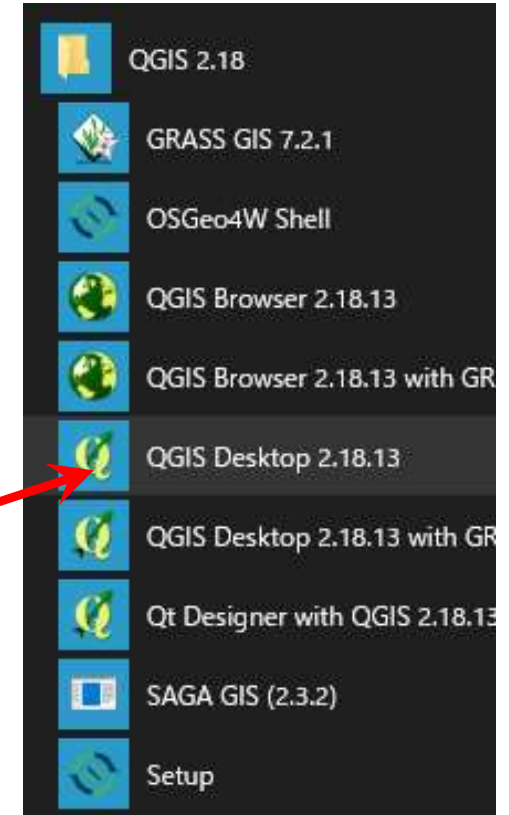
(解凍後は、これらの圧縮ファイル(zipファイル)は削除してもよい。もう要らない)

QGISでVoronoi図を簡単に描く

5. QGISで行政区域を表示

① QGIS Desktop x.xx.xx を起動
(x.xx.xxはバージョン番号)

1. 左下「Windows」マークから
2. 「全てのプログラム」を選び
3. 「QGIS x.xx」内の
4. 「QGIS Desktop x.xx.xx」を選択



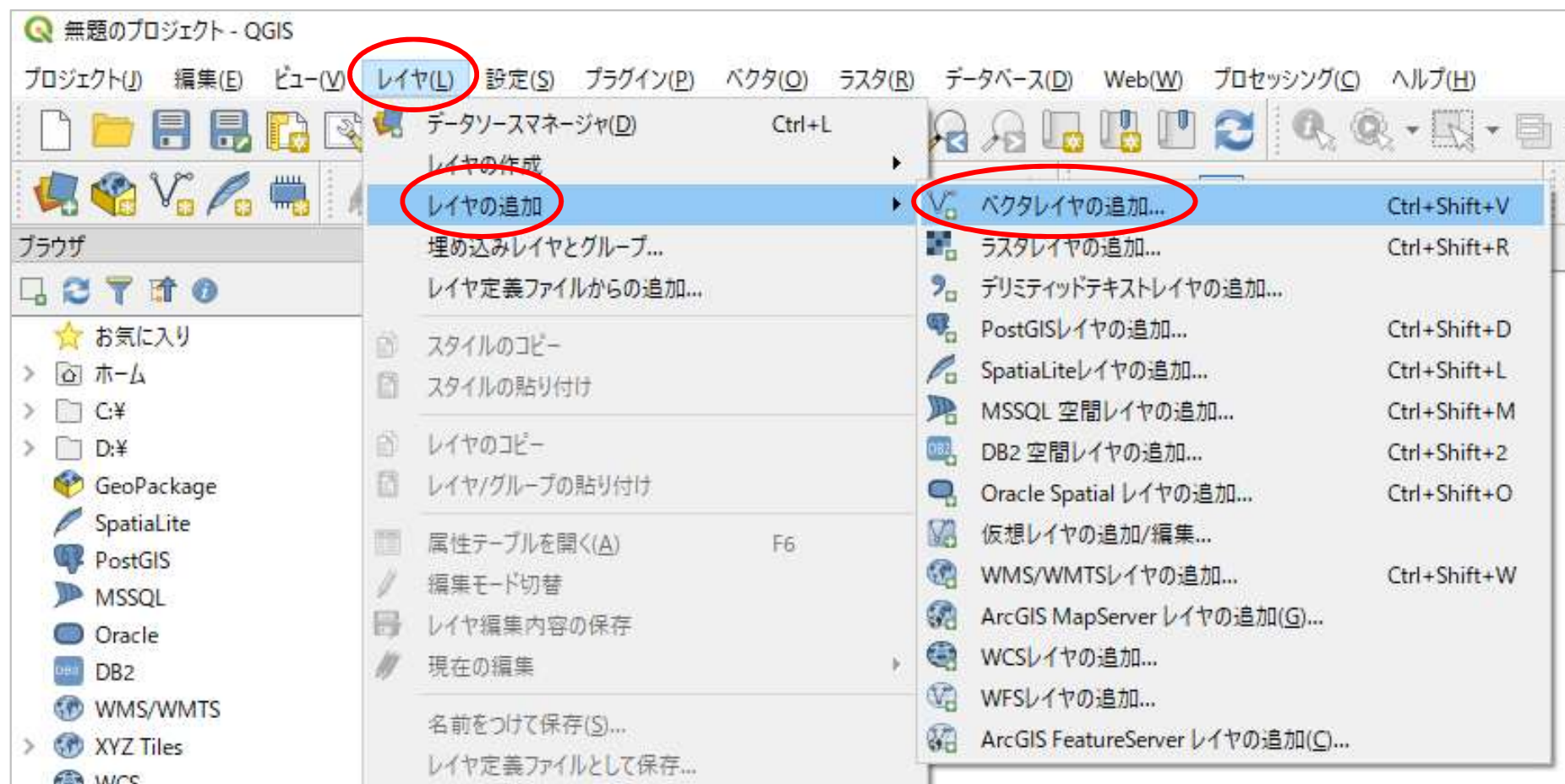
※この資料は、QGIS Desktop 3.4.1 (Madeira) を元に作成しているので、バージョンが違う場合は、画面構成ややり方が異なる場合があることに注意

QGISでVoronoi図を簡単に描く

5. QGISで行政区域を表示

② メニューから

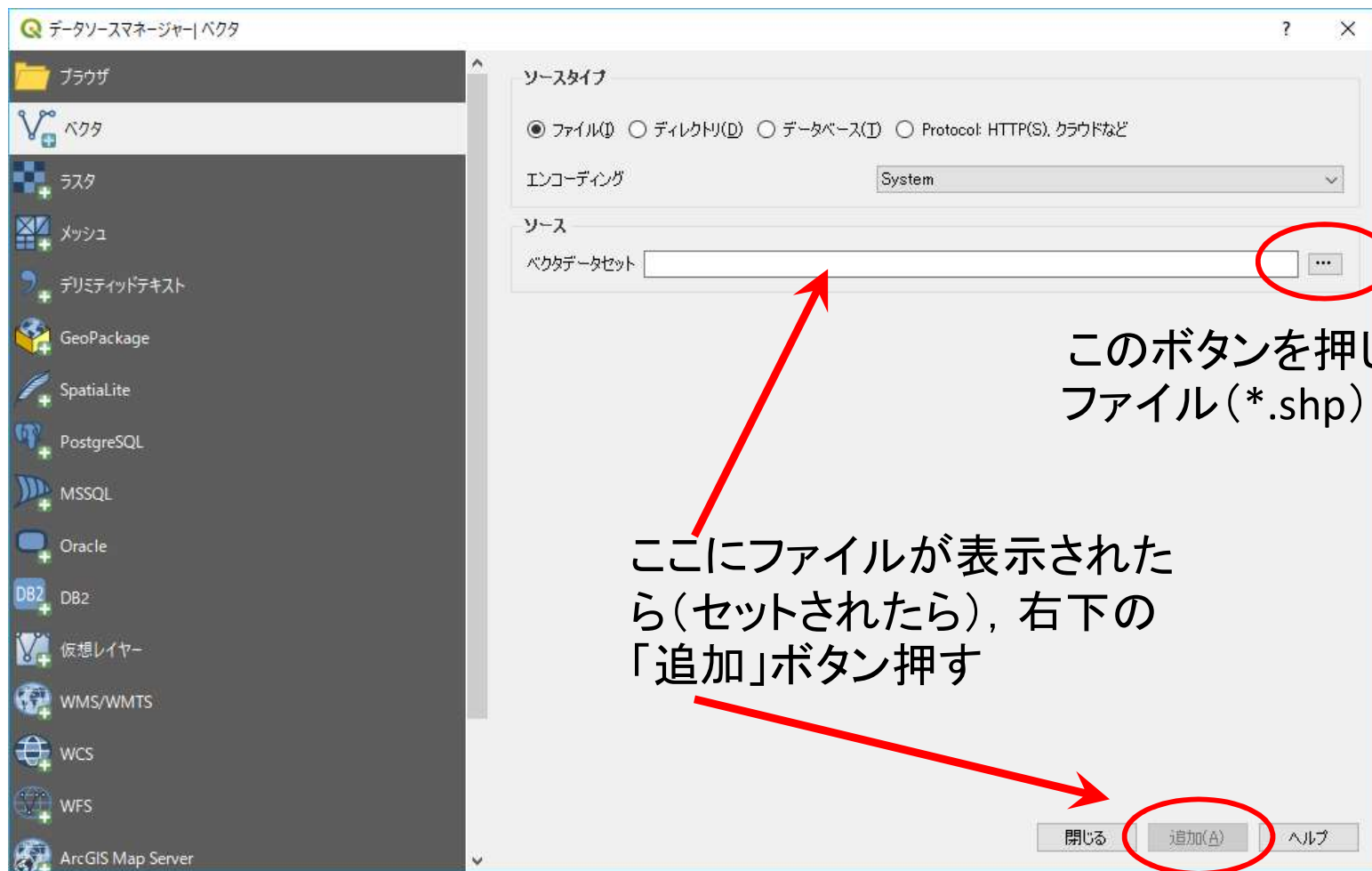
「レイヤ(L)」―「レイヤの追加」―「ベクタレイヤの追加」
を選択



QGISでVoronoi図を簡単に描く

5. QGISで行政区域を表示

- ③ 「データソースマネージャー | ベクタ」の「ソース: ベクタデータセット」の右端のボタンをクリックし、保存解凍した行政区域ファイルのフォルダ中からシェープファイル(*.shp)を選択し「追加」



このボタンを押し, シェープファイル(*.shp)を選択する

ここにファイルが表示されたら(セットされたら), 右下の「追加」ボタン押す

QGISでVoronoi図を簡単に描く

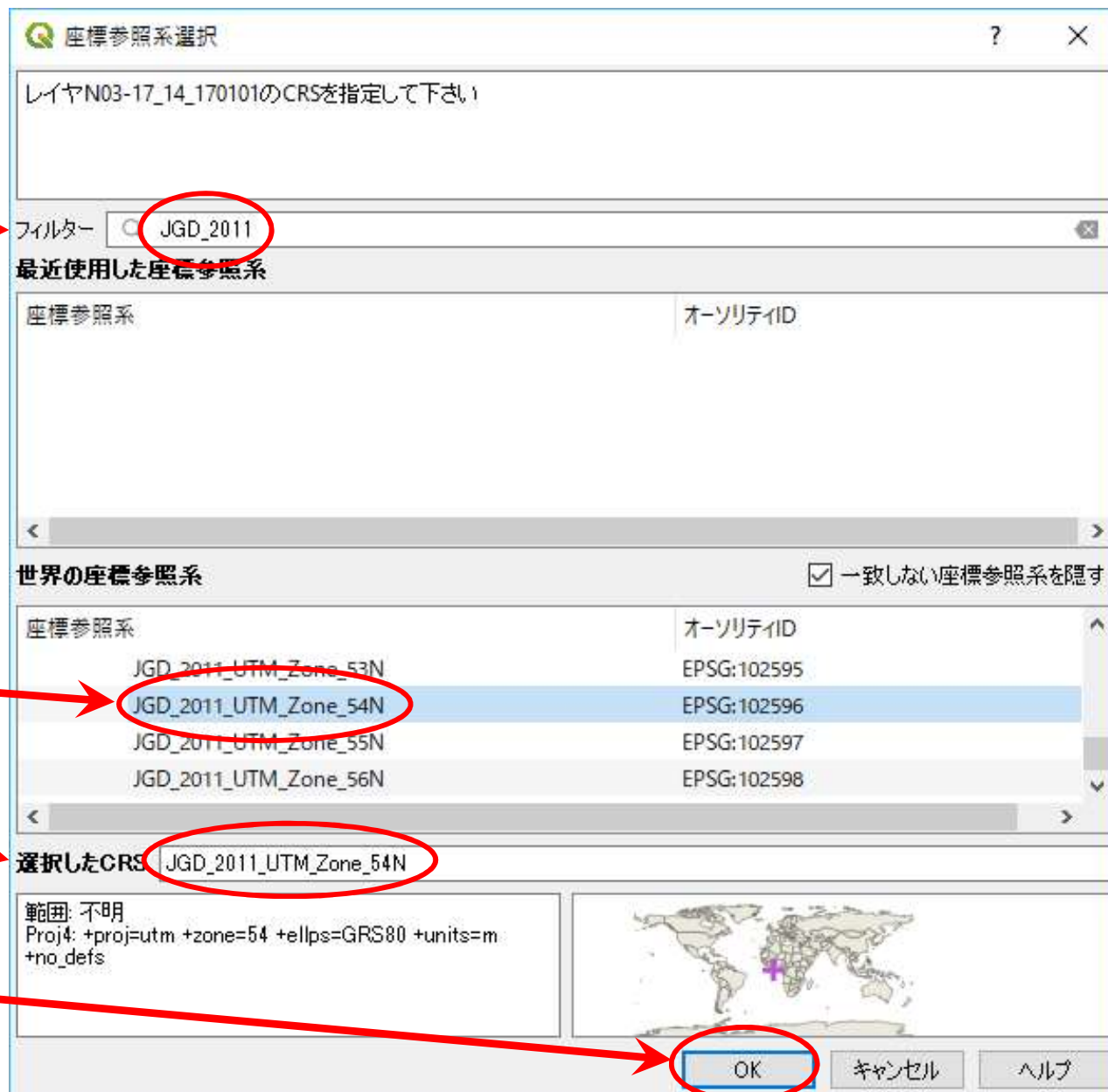
5. QGISで行政区域を表示

④ 「座標参照系選択」

[フィルター]に
「JGD2011」と入力

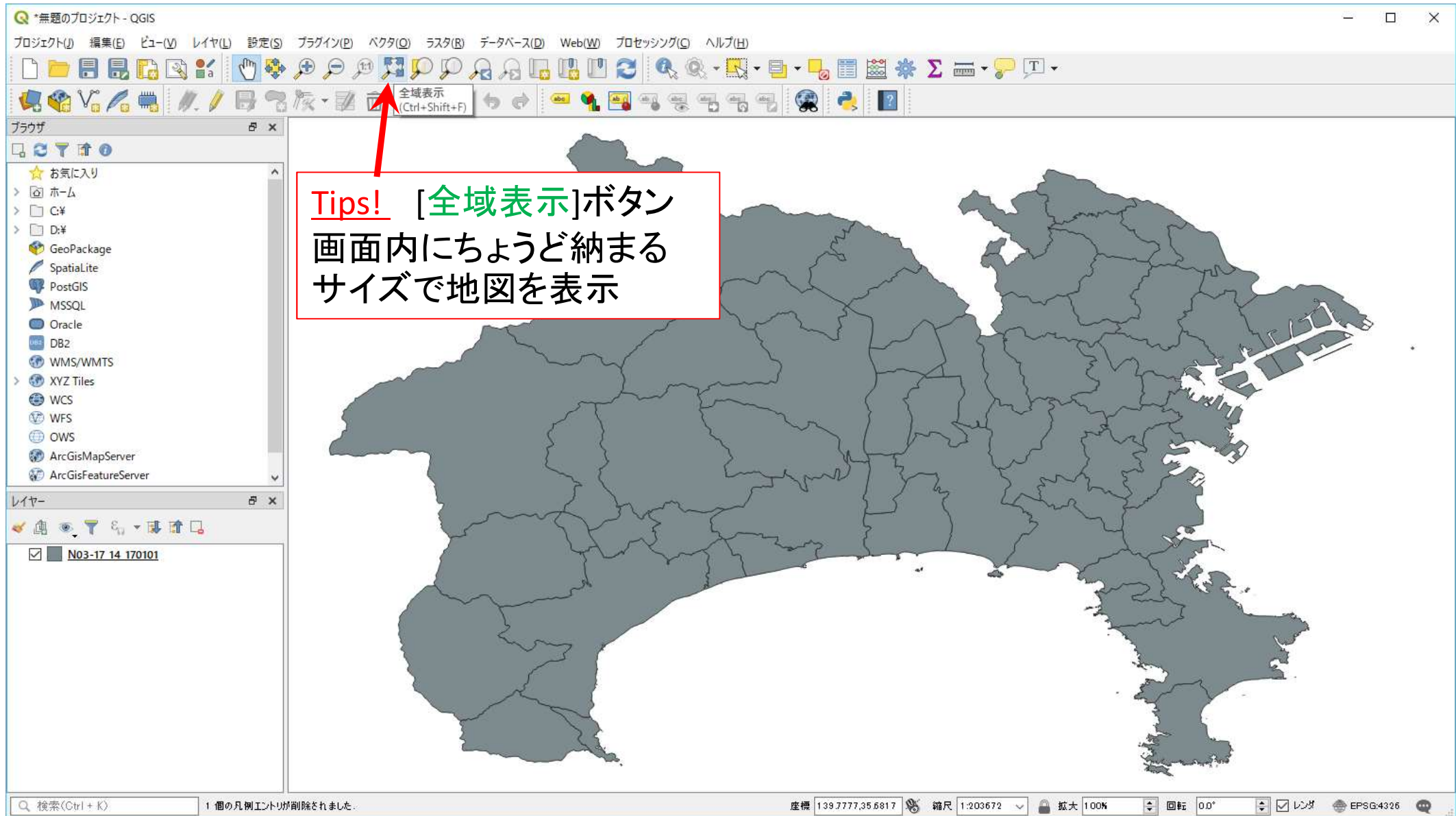
[座標参照系]で
「JGD_2011_UTM_Zone_54N」
を探して選択

[選択したCRS]に
「JGD_2011_UTM_Zone_54N」
が表示されているのを確認したら
「OK」



QGISでVoronoi図を簡単に描く

5. QGISで行政区域を表示 【完成】

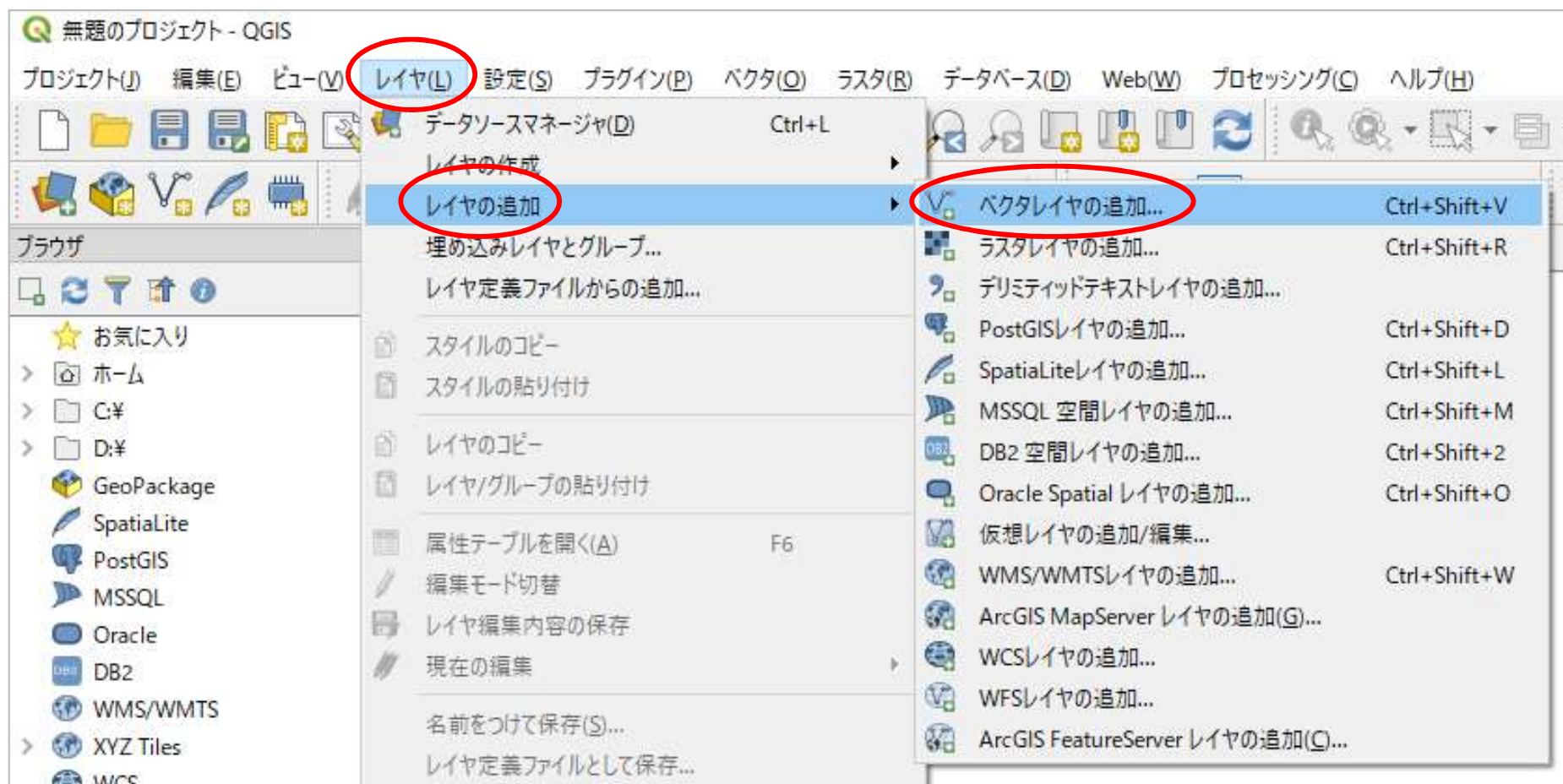


QGISでVoronoi図を簡単に描く

6. QGISで避難施設を表示

① メニューから

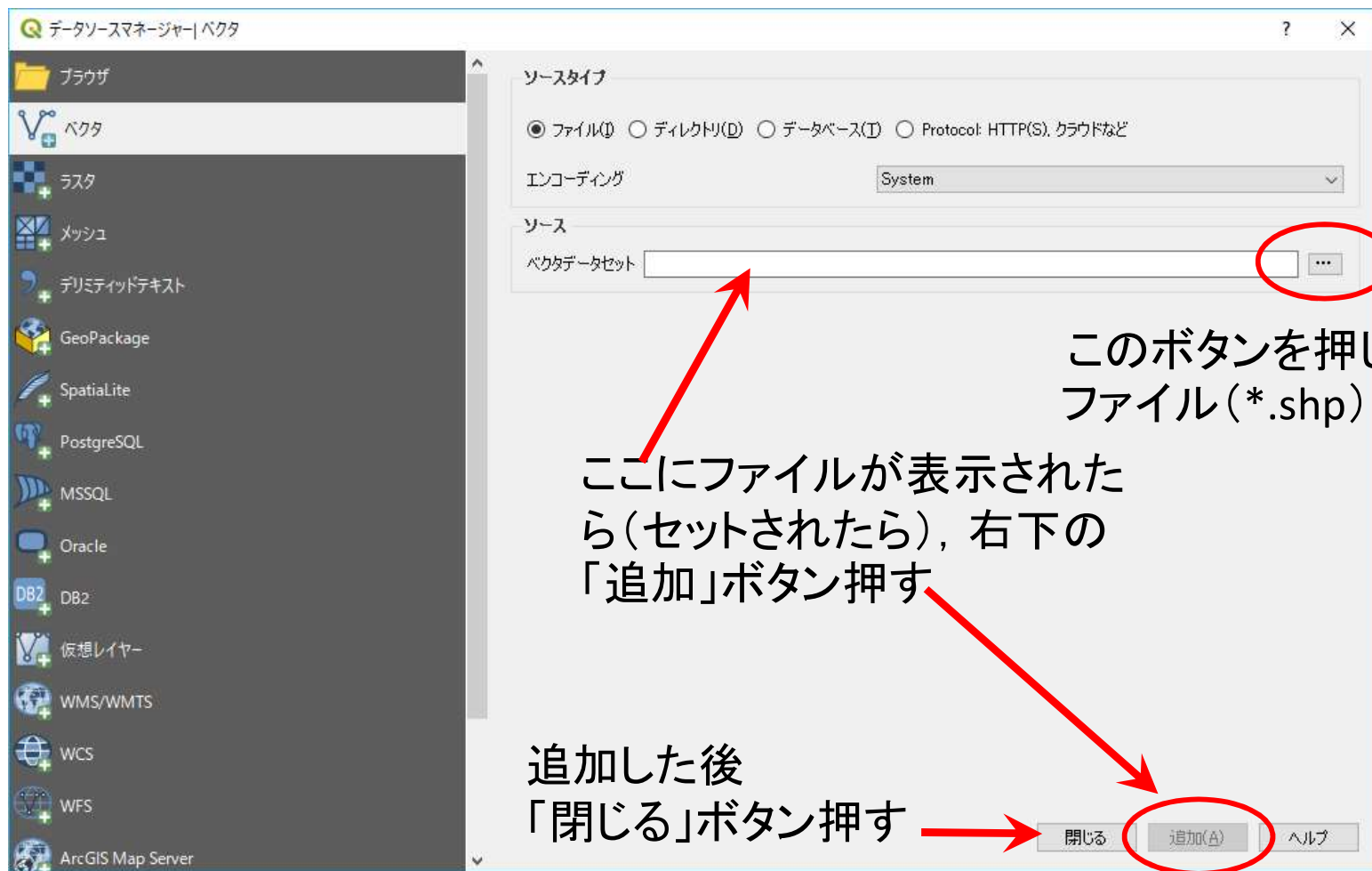
「レイヤ(L)」―「レイヤの追加」―「ベクタレイヤの追加」
を選択



QGISでVoronoi図を簡単に描く

6. QGISで避難施設を表示

- ② 「データソースマネージャー | ベクタ」の「ソース: ベクタデータセット」の右端のボタンをクリックし、保存解凍した避難施設ファイルのフォルダ中からシェープファイル(*.shp)を選択し「追加」



QGISでVoronoi図を簡単に描く

6. QGISで避難施設を表示

- ③ 「レイヤー」パネルの(“P20-12 14”)を右クリックし, 「CRSの設定」
—「レイヤのCRSを設定」を選択 → [... zone54N]を選択し[OK]

The image shows two screenshots from the QGIS application. The left screenshot shows the 'レイヤー' (Layers) panel with a right-click context menu open for the layer 'P20-12 14'. A red arrow points to the layer name with the text '右クリック' (Right-click). Another red arrow points to the 'CRSの設定' (Set CRS) option in the menu with the text '選択' (Select). A third red arrow points to the 'レイヤのCRSを設定' (Set layer CRS) option in the submenu with the text '選択' (Select). The right screenshot shows the '座標参照系の選択' (Select CRS) dialog box. A red circle highlights the 'JGD2011 / UTM zone 54N' entry in the '最近使用した座標参照系' (Recently used CRS) list. A red arrow points to this entry with the text '[最近使用した座標参照系]で「.....zone 54N」を選択し, [OK]' (Select '.....zone 54N' from the recently used CRS and click [OK]). Another red arrow points to the 'OK' button at the bottom of the dialog box.

レイヤー

右クリック

選択

選択

座標参照系の選択

このレイヤの座標参照系を定義してください:
このレイヤには投影法が指定されていません。デフォルトでは、プロジェクトの投影法が適用されますが、下記から選択することもできます。

フィルター

最近使用した座標参照系

座標参照系	参照系ID
JGD2011 / UTM zone 54N	EPSG:6691

[最近使用した座標参照系]で「.....zone 54N」を選択し, [OK]

世界の座標参照系

座標参照系	参照系ID
JGD2011 / UTM zone 51N	EPSG:6688
JGD2011 / UTM zone 52N	EPSG:6689
JGD2011 / UTM zone 53N	EPSG:6690
JGD2011 / UTM zone 54N	EPSG:6691
JGD2011 / UTM zone 55N	EPSG:6692

JGD2011 / UTM zone 54N

領域

Proj4

138.00, 17.63, 144.00, 46.05

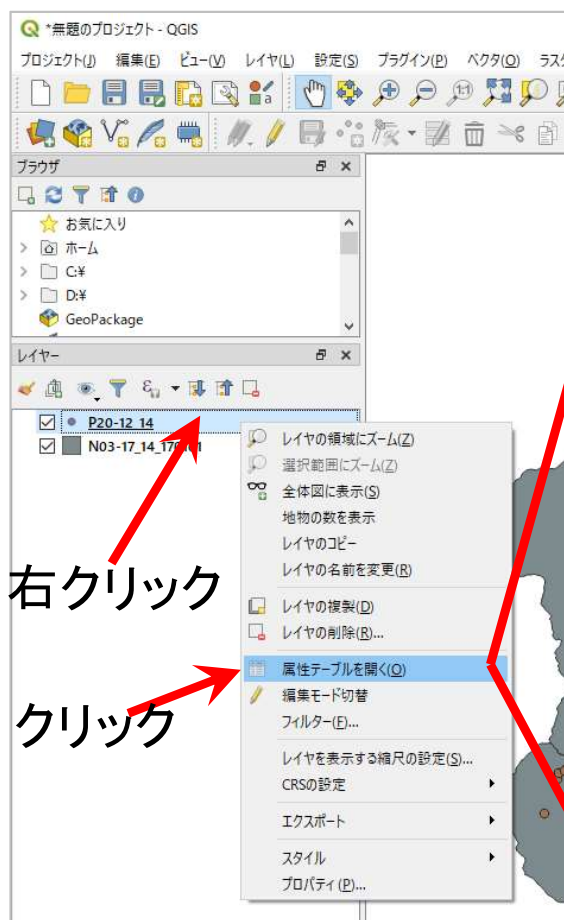
+proj=utm +zone=54 +ellps=GRS80 +units=m +no_defs

OK キャンセル ヘルプ

QGISでVoronoi図を簡単に描く

6. QGISで避難施設を表示

- ④ 「レイヤー」パネルの(“P20-12 14”)を右クリックし, 「属性テーブルを開く」を選択. この次の設定④で使う「ラベル」の項目名を確認する



P20-12_14 :: 地物数 合計: 2111、フィルタ: 2111、選択: 1

	P20_001	P20_002	P20_003	P20_004	P20_005	P20_006	P20_007	P20_008	P20_009	P20_010	P20_011	P20_012	レベ	備考	緯度	経度	NO
1	14101	獅子ヶ谷小学校	神奈川県横浜市鶴見区獅子ヶ谷1-1...	避難所	-1	5105	1	0	1	0	0	0	1		35.51697300000	139.65078800000	10
2	14101	寺尾小学校	神奈川県横浜市鶴見区東寺尾5-19-1	避難所	-1	7749	1	0	1	0	0	0	1		35.50428700000	139.65789400000	11
3	14101	寺尾中学校	神奈川県横浜市鶴見区北寺尾3-13-1	避難所	-1	9018	1	0	0	0	0	0	1		35.52000800000	139.65914400000	12
4	14101	汐入小学校	神奈川県横浜市鶴見区汐入町2-36	避難所	-1	3700	1	0	1	0	0	0	1		35.49909300000	139.68775300000	13
5	14101	上の富中学校	神奈川県横浜市鶴見区上の富1-26-33	避難所	-1	5790	1	0	0	0	0	0	1		35.51220200000	139.63889600000	14
6	14101	上寺尾小学校	神奈川県横浜市鶴見区馬場3-21-21	避難所	-1	6390	1	0	1	0	0	0	1		35.50717600000	139.65406100000	15
7	14101	上末吉小学校	神奈川県横浜市鶴見区上末吉5-24-1	避難所	-1	5005	1	0	1	0	0	0	1		35.53431100000	139.66214400000	16
8	14101	新鶴見小学校	神奈川県														
9	14101	生麦小学校	神奈川県														
10	14101	生麦中学校	神奈川県														
11	14101	旭小学校	神奈川県														
12	14101	潮田小学校	神奈川県														
13	14101	潮田中学校	神奈川県														
14	14101	鶴見小学校	神奈川県														
15	14101	鶴見中学校	神奈川県														
16	14101	東台小学校	神奈川県														

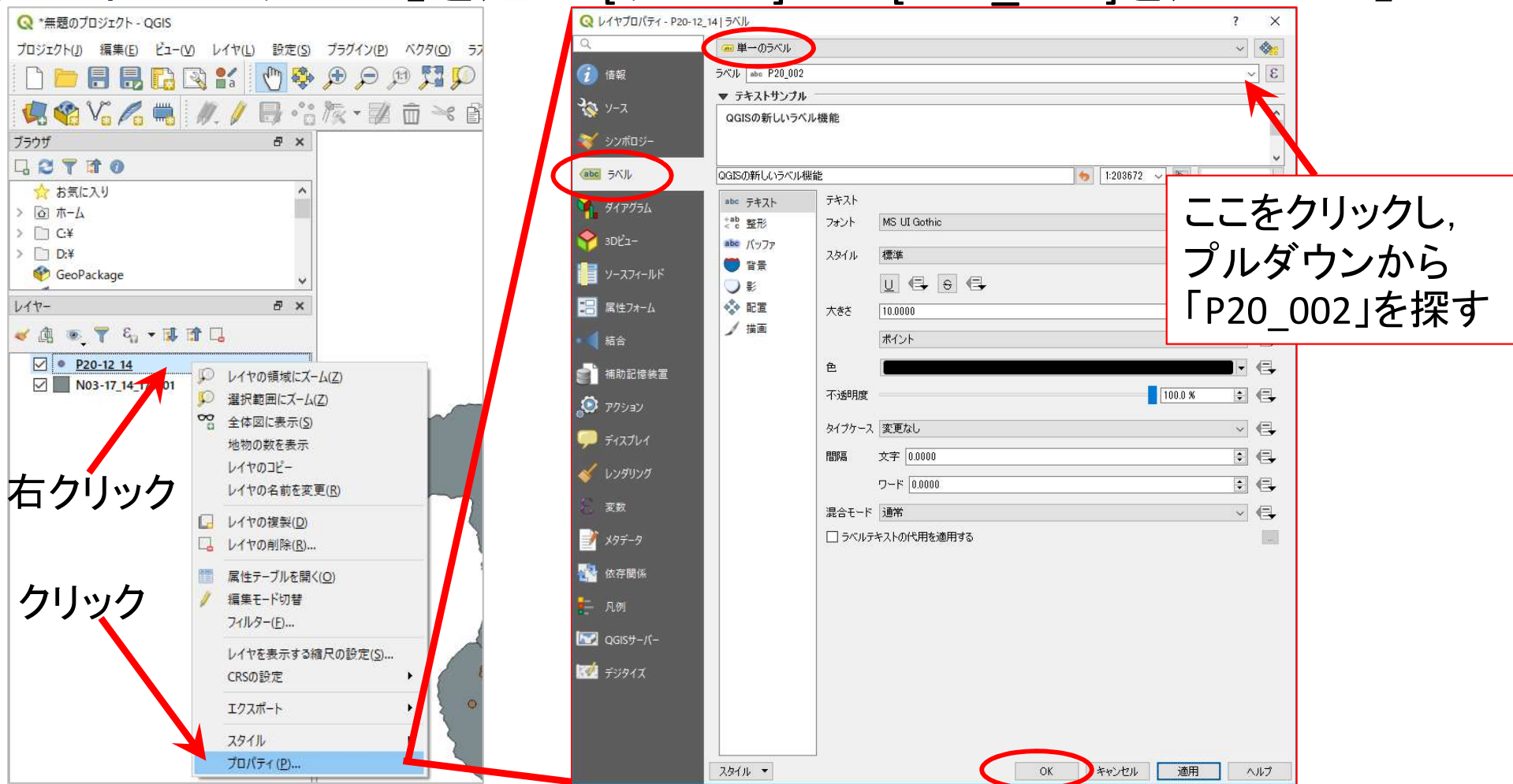
全ての地物を表示する。

地図に付随するデータ(「属性テーブル」)が表示されるので, それぞれの項目名を確認(後で[避難施設の名称]を[ラベル]に設定したいので, そのデータがある項目名が[P20_002]であることを確認し, 覚えておく)確認したら, このテーブルは閉じて良い

QGISでVoronoi図を簡単に描く

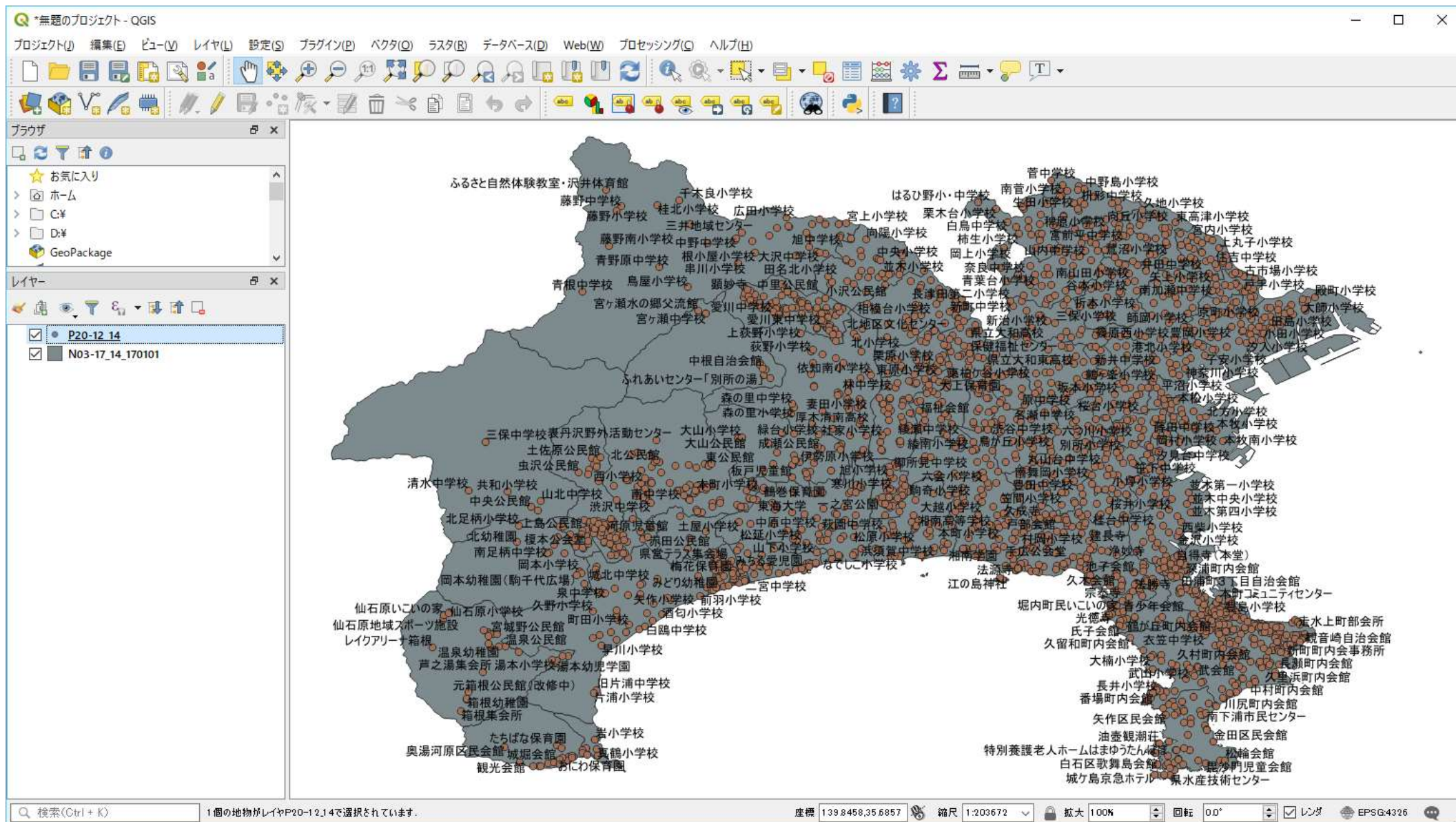
6. QGISで避難施設を表示

- ⑤ 「レイヤー」パネルの(“P20-12 14”)を右クリックし, 「プロパティ」を選び, 「ラベル」を選択
- ⑥ 「単一のラベル」を選び [ラベル]から[P20_002]を選び「OK」



QGISでVoronoi図を簡単に描く

6. QGISで避難施設を表示 【完成】

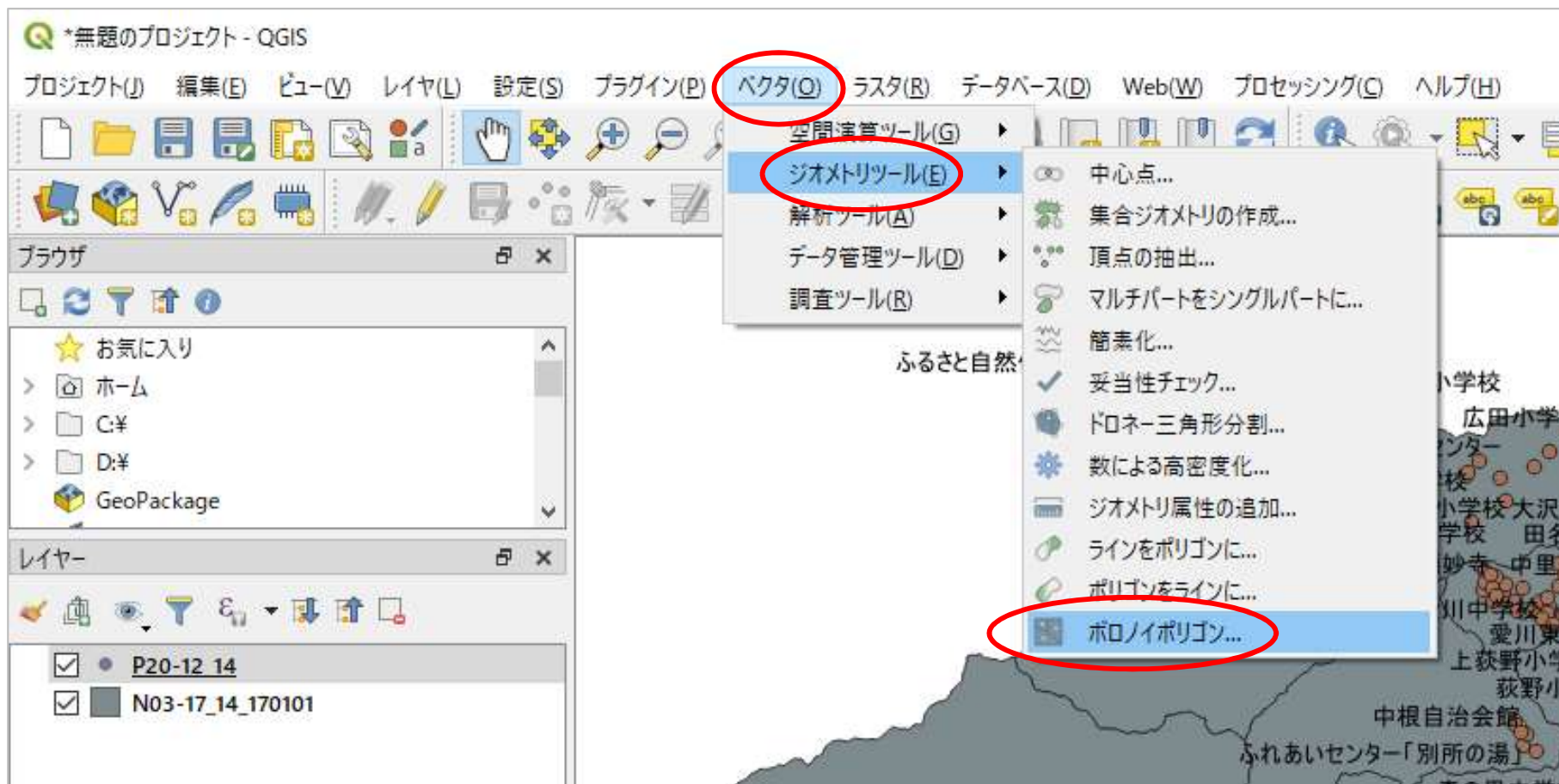


QGISでVoronoi図を簡単に描く

7. QGISで避難施設のボロノイ図を作成・表示

① メニューから

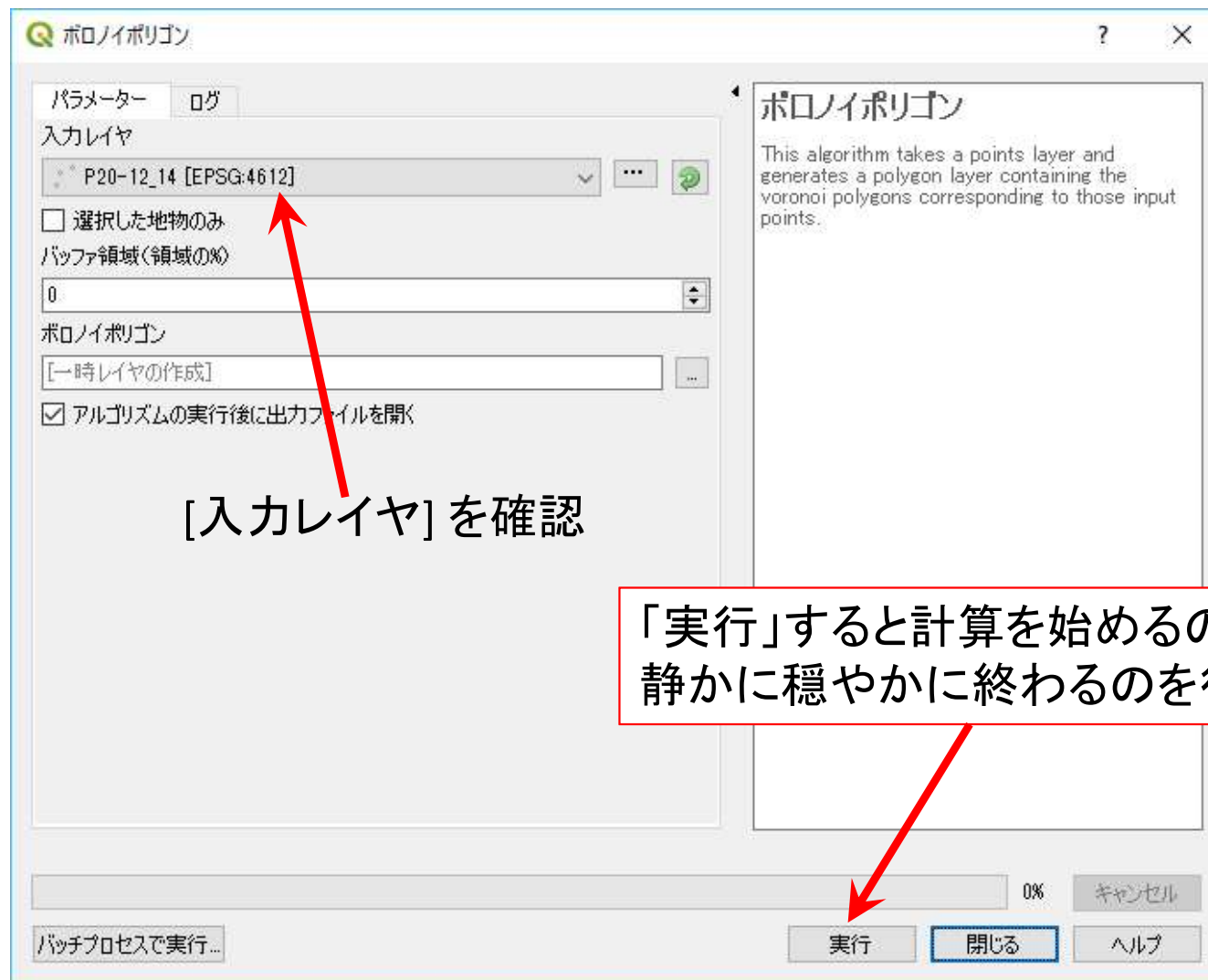
「ベクタ(O)」―「ジオメトリツール」―「ボロノイポリゴン」
を選択



QGISでVoronoi図を簡単に描く

7. QGISで避難施設のボロノイ図を作成・表示

- ② 「ボロノイポリゴン」ウィンドウの[入力レイヤ]が[P20-12_14]であることを確認し、「実行」をクリック. 計算終了後「閉じる」



QGISでVoronoi図を簡単に描く

7. QGISで避難施設のボロノイ図を作成・表示

- ③ 「レイヤー」パネルの(“ボロノイポリゴン”)を右クリック,「プロパティ」を選び「シンボロジー」選択. [不透明度]を[50%]にし「OK」

The image shows a QGIS project window with a map and a layer panel. The layer panel lists several layers, including 'ボロノイポリゴン' (Voronoi Polygon). A red arrow points to this layer, and a red box highlights it. A red arrow points to the 'プロパティ' (Properties) button in the layer panel. A red arrow points to the 'シンボロジー' (Symbol) tab in the layer properties dialog. A red arrow points to the '不透明度' (Opacity) slider, which is set to 50.0%. A red arrow points to the 'OK' button at the bottom of the dialog. A red box highlights the 'OK' button. A red arrow points to the 'バー' (Bar) in the legend, with a text box saying 'バーを動かすか, 直接50と入力' (Move the bar or enter 50 directly).

右クリック

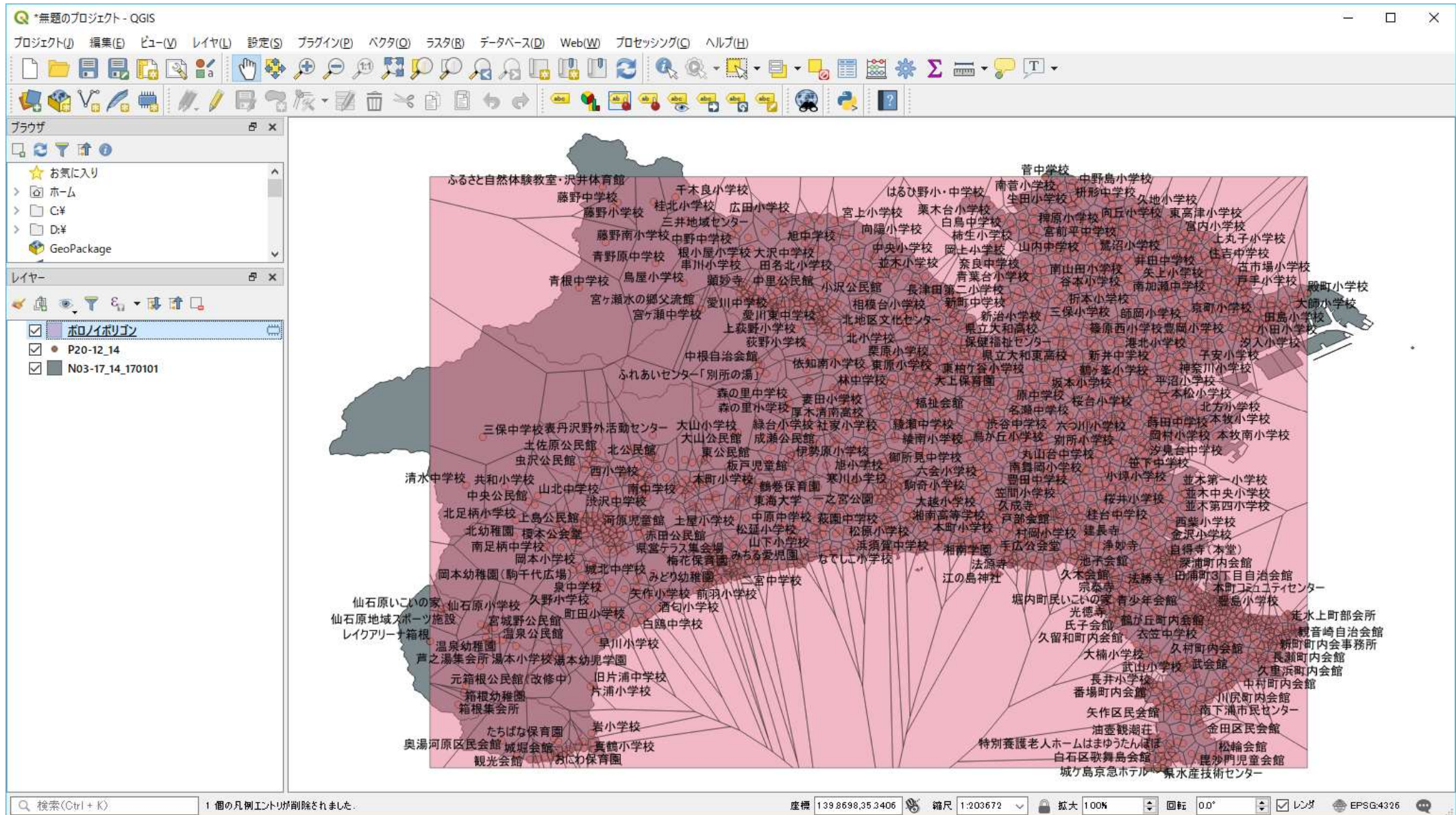
クリック

バーを動かすか, 直接50と入力

OK

QGISでVoronoi図を簡単に描く

7. QGISで避難施設のボロノイ図を作成・表示【完成】



QGISでVoronoi図を簡単に描く

• 注意事項

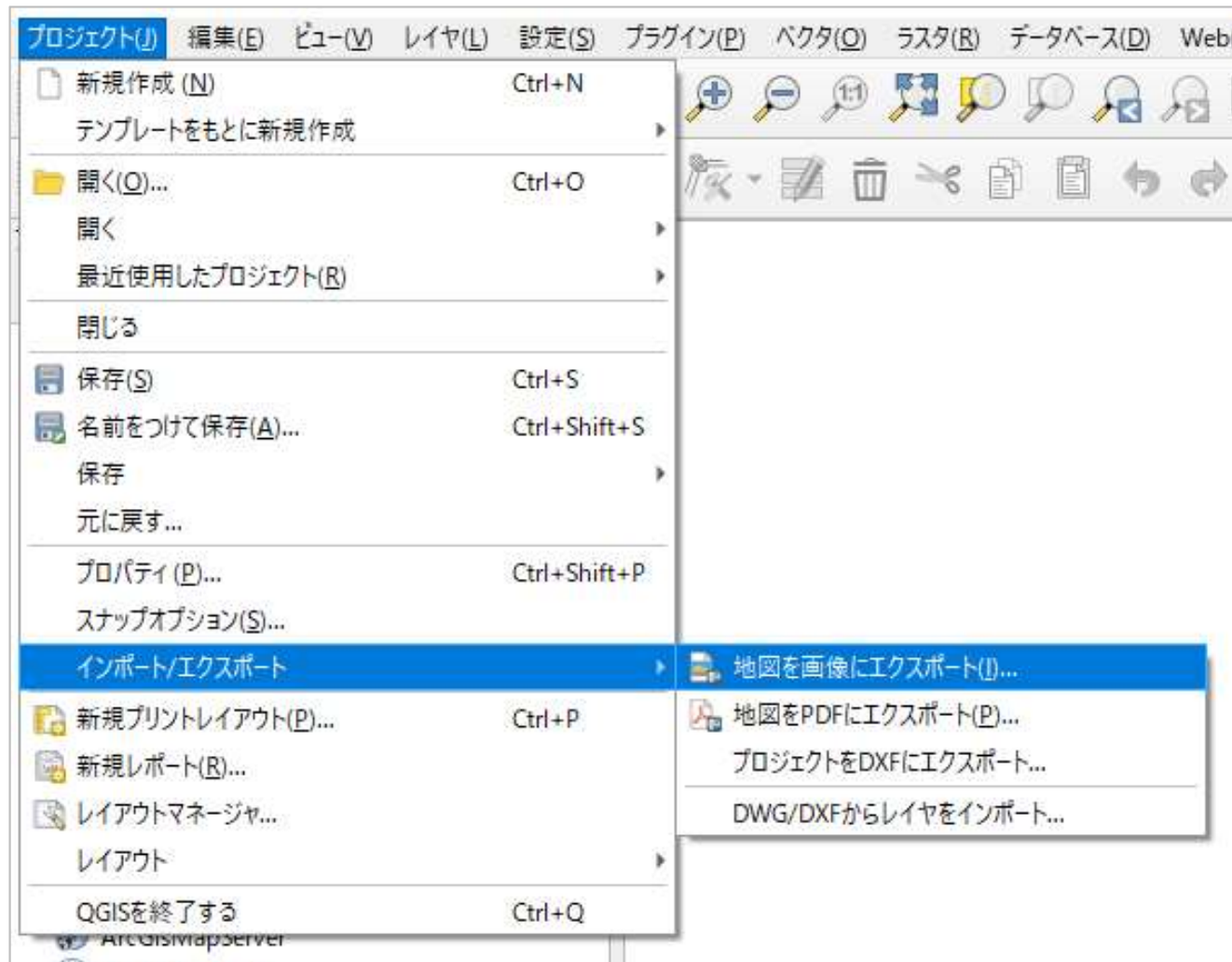
- ✓ 「レイヤパネル」内の各レイヤ(層)は, ドラッグで上下の順番を入れ替えることができる. レイヤ(層)は, この順に下から上へ重ねて表示されている. よって, 下側にあるものは, 重なって(表示されているのに) **見えない**ということがある. その場合は, 例題のvoronoi図でやったとおり, 上にあるオブジェクト(もの)の **透過率**を0%からあげると良い(100%で透明となる)
- ✓ この例では, 3つのレイヤ(層)を
 - 「ボロノイポリゴン」 ←ボロノイ図: **透過率**を**50%**に設定した
 - 「P20-12_14」 ←避難地域の点とその名称
 - 「N03-10_14_...」 ←神奈川県市区町村境界線図

の順のままで大丈夫だろう

作成した図のファイル出力(簡易版)

• 画像としてエクスポート

- ① メニューから「プロジェクト」→「インポート/エクスポート」→「地図を画像にエクスポート」を選択 →[保存]ボタン押す

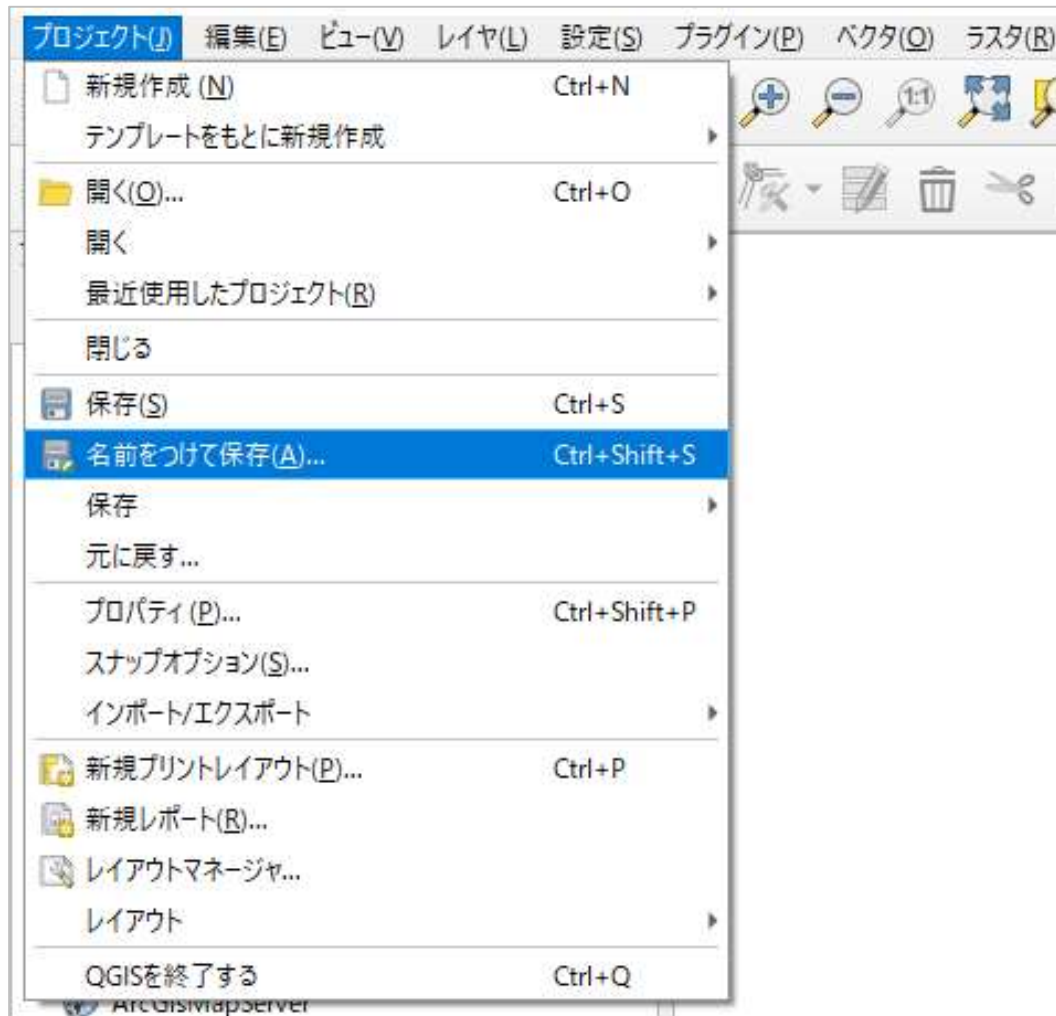


現在, 画面に表示されている通りに画像として保存される

さいごに... 作業内容の保存

• プロジェクトの保存

① メニューから「プロジェクト」-「名前をつけて保存」を選択



作業内容が,
[プロジェクト] = [qgzファイル]
として保存される

注) 使用したデータ(shpファイル, csvファイル等)そのものは, 保存されない

注) 使用したデータの保存位置を変更してしまうと, 次回, qgzファイルを開いたときに, 正しく読み込めなくなる(利用できないレイヤをどう処理するか聞かれる)ので注意

補足: Voronoi領域の面積・外周長計算

• 面積・外周長の計算

- ① メニューから「ベクタ(0)」→「ジオメトリツール」→「ジオメトリカラムの出力/追加」を選択
- ② 「ジオメトリカラムの出力/追加」ウィンドウで以下を設定
 - 「入力ベクタレイヤ」=「ボロノイポリゴン」選択(ボロノイ図のレイヤ選択)
 - 「計算に利用する」=「レイヤCRS」を選択
 - 「新しいシェープファイルに保存する」= ☒
 - 「ブラウズ」で保存する場所とファイル名(out-voronoi-area)を指定
 - 「結果をキャンバスに表示する」= ☒ →「OK」クリック
- ③ 左側の「レイヤパネル」の名称(“out-voronoi-area”)を右クリックし、「属性テーブルを開く」を選択
 - 新しい項目[AREA]に面積, [PERIMETER]に外周長が追加されている

参考: 作成した図のファイル出力(応用)

• プリントレイアウトで出力ファイル(画像)作成

- ① メニューから「プロジェクト」→「新規プリントレイアウト」を選択
- ② 「プリントレイアウトのタイトル...」でタイトルをつけて「OK」
- ③ 「プリントレイアウト」画面で「アイテムを追加」→「地図を追加」
- ④ 画面上の左上から右下にドラッグ(適当なサイズの長方形描く)
 - ✓ 地図の大きさを変更したい場合, 右下側「アイテムプロパティ」タブを選択し, 「縮尺」の数値を(地図が画面内に入るよう)適当な値に設定し, 「Enter」キーを押す. ちょうど良いサイズは数値を変更して調整
- ⑤ 「アイテムを追加」→「スケールバーを追加」→画面内適当な場所へ
- ⑥ 「アイテムを追加」→「凡例を追加」 →画面内適当な場所へ
- ⑦ 「アイテムを追加」→「ラベルを追加」 →画面内適当な場所へ
- ⑧ 「凡例」「ラベル」の設定は, それぞれを選択後, 右側の「アイテムプロパティ」で行う
- ⑨ 「レイアウト」→「画像としてエクスポート」を選び名前を付け保存